



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2017年3月期 第1四半期

2016年4月1日～2016年6月30日

WEB版



拡がる未来、
新しい時代へ発進



2016年8月
代表取締役社長 高田 真治

JCSAT-14に続いて
JCSAT-16も打ち上げ成功。
防衛省向けPFI事業衛星および
Superbird-8の打ち上げ延期に
伴い業績予想を修正しましたが、
JCSAT-16の運用開始で
お客様への影響はございません。

2017年3月期 通期業績予想 (6/17修正)

営業収益	営業利益
1,950億円 前期比19.7%増 UP	210億円 前期比13.3%減 DOWN
親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
130億円 前期比22.9%減 DOWN	43.77円 前期55.39円
	1株当たり 年間配当金
	16.00円 前期14.00円

2017年3月期第1四半期

営業収益	営業利益
397億円 前期比3.4%減 DOWN	62億円 前期比7.0%増 UP
親会社株主に帰属する四半期純利益	
42億円 前期比13.1%増 UP	

2017年3月期 第1四半期の業績

有料多チャンネル事業の費用削減等により、 前年同期比減収増益となりました。

有料多チャンネル業界では、インターネットを使った動画配信サービスの増加などで、コンテンツおよび加入者の獲得競争がますます激化しています。宇宙・衛星業界では、船舶・航空機に対する移動体衛星通信ビジネスが拡大する一方で、グローバルでは海外衛星オペレーターとの厳しい価格競争に直面しています。

こうした中、当四半期の営業収益は、有料多チャンネル事業における視聴料収入の減少などで前年同期比減収となりました。利益面では、有料多チャンネル事業での視聴料収入の減収に伴う番組供給料の減少や広告宣伝費の抑制、宇宙・衛星事業では衛星減価償却費の減少もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも増益となりました。

2017年3月期 第1四半期の取り組み

新規販路開拓による加入者獲得、 新事業領域への進出を推し進めました。

有料多チャンネル事業では、「加入料0円キャンペーン」に加え、4K専門チャンネル「スカパー！4K映画」、「スカパー！4K総合」の

24時間編成化や「スカパー！4K体験」の開局など加入者基盤の維持・拡大に向けた取り組みを実施しました。南米に北中米も加わった「コパアメリカ センテナリオUSA 2016」の全試合生中継などオリジナル番組の投入による差別化を図りました。また、当四半期にはNTTドコモとの光コラボレーションとして、ドコモショップにおいて「スカパー！サービス」のお申込受付を開始しました。7月にはソフトバンクとの連携も始まり、ソフトバンクショップ、家電量販店、Yモバイルショップでの当社サービスのお申込受付が行われています。積極的な新規販路の拡大により、新たな加入者層へのアプローチを図ってまいります。また、スカパー！オンデマンドで配信するチャンネルを現在の19チャンネルから秋までに段階的に50チャンネルに拡大します。放送と同じ番組をオンデマンドでもご視聴いただける環境を拡充することで「いつでも、どこでも」スカパー！をお楽しみいただけるよう努めてまいります。

宇宙・衛星事業では、5月に打ち上げに成功したJCSAT-14(軌道上衛星名：JCSAT-2B)が、その後の機能試験を経て無事に運用を開始し、新たな回線提供契約も進んでいます。「平成28年熊本地震」に際しては、厚生労働省DMAT(災害派遣医療チーム)事務局に対して可搬型VSAT(小型地球局)を使用した緊急衛星回線を構築・提供するなど災害時の様々な衛星通信サービスを提供しています。また、伸張する移動体衛星通信ビジネスにおいても、新たに日本航空でも日本上空での機内インターネットサービスに当社衛星の利用が始まりました。すでに始まっている全日本空輸の国内線での機内Wi-Fiサービスを利用したリアルタイムでのテレビ番組配信「スカイライブテレビ」の対応便も増加しております。さら

に、成長するドローン市場への参入や個人向け山岳Wi-Fi接続サービスの提供など新事業領域への取り組みにも注力しています。

通期業績予想の修正について

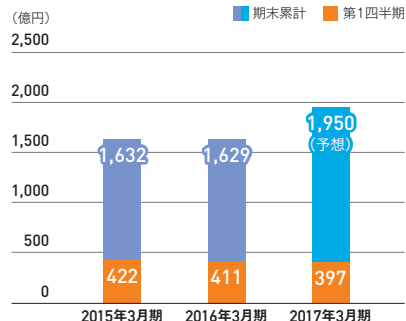
2016年7月に打ち上げを予定しておりました防衛省PFI事業衛星1号機については、射場であるギアナ宇宙センター(南米フランス領ギアナ)への輸送中に、輸送コンテナが変形する事象が発生し、1号機および同機と相乗りする自社衛星Superbird-8への損傷が認められ、今期中の打ち上げは困難であることがわかりました。今期の計画には、同省向け衛星2機の引渡しによる収益および利益を見込んでいましたが、1号機の打ち上げ遅延に伴い、6月17日付で通期連結業績予想を下方修正いたしました。1号機引き渡しにかかる収益および利益は翌期以降へ繰越されることになります。

なお、同省向けPFI事業衛星2号機につきましては、順調に調達が進んでおり、今年度下期の打ち上げ予定に変更はありません。また、Superbird-8は、Superbird-B2の後継機として打ち上げ予定でしたが、8月14日に軌道上予備衛星として打ち上げに成功したJCSAT-16が一時的にSuperbird-B2のサービスを継承するため、お客様向けのサービスに与える影響はございません。

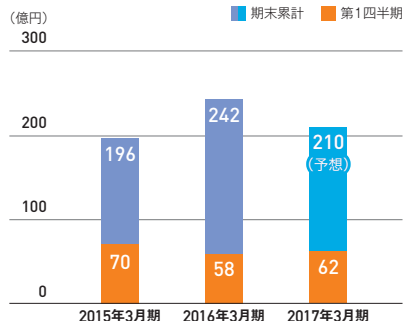
2020年度を最終年度とする中期経営計画の初年度がスタートしましたが、計画目標達成へ全社一丸となって取り組みます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務情報

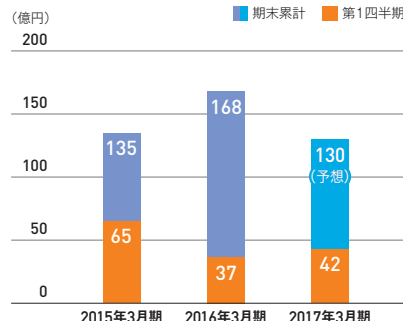
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



業績概況

当第1四半期の連結業績

前期比増収減益となる当期見通しに対し、計画通りの堅調な進捗となっております。

営業収益は前年同四半期比1,414百万円減の39,707百万円、営業利益は前年同四半期比410百万円増の6,266百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比496百万円増の4,284百万円となりました。

有料多チャンネル事業

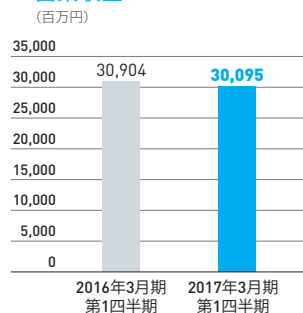
「スカパー！」累計加入件数の増加により同サービスの業務手数料収入が増加した一方で、「スカパー！プレミアムサービス」累計加入件数減少による視聴料収入減少等により、営業収益は前年同四半期比808百万円減の30,095百万円となりました。また番組供給料および広告宣伝費等の減少により、営業費用は前年同四半期比1,362百万円減の28,234百万円となり、この結果セグメント利益は前年同四半期比553百万円増の1,861百万円となりました。

宇宙・衛星事業

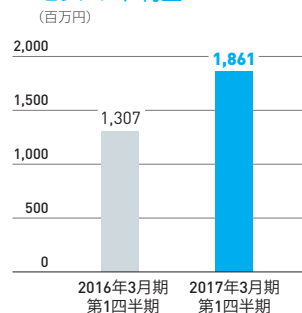
ExBird等のVSATサービス収入が増加した一方で、一部海外顧客の利用帯域減少による収入減少等により、営業収益は前年同四半期比694百万円減の12,626百万円となりました。また、一部の通信衛星設備償却完了等に伴う減価償却費の減少により、営業費用は前年同四半期比565百万円減の8,040百万円となりました。この結果、セグメント利益は前年同四半期比128百万円減の4,585百万円となりました。

有料多チャンネル事業

営業収益

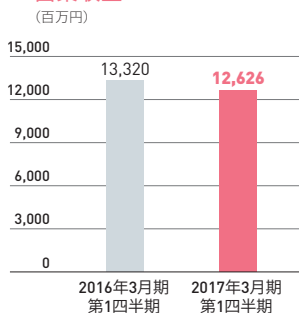


セグメント利益

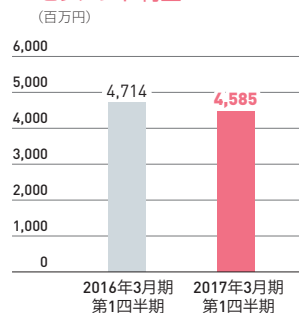


宇宙・衛星事業

営業収益



セグメント利益



KEY DATA

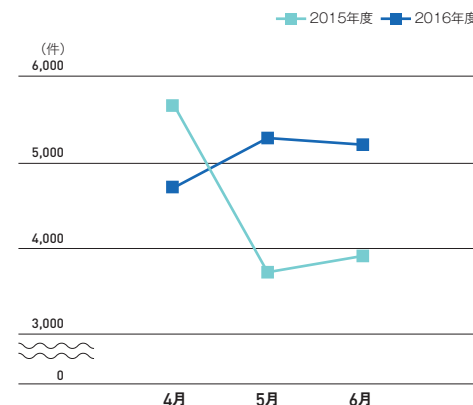
スカパー！プレミアムサービス新規加入件数

15,169件

(2017年3月期第1四半期)

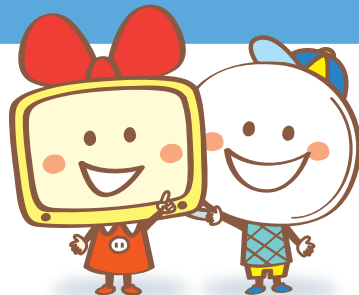
スカパー！プレミアムサービスの新規加入件数は、前年同四半期比1.4%増の15,169件となりました。これは、今年度より4Kテレビの販売が好調な家電量販店での販売促進をプレミアムサービスに集中したこと、また5月に「スカパー！4K体験」を開局し、4K専門チャンネルを3チャンネルに増やしたことの効果によるものです。ソニー、東芝からはプレミアムサービスチューナー内蔵の4Kテレビが発売されており、4Kテレビの普及に合わせ、プレミアムサービスの新規加入件数増を目指します。

スカパー！プレミアムサービス新規加入件数実績



第1四半期ニュースフラッシュ

2016年4月～6月



4月 | April

2日 初開催から4年でモンスタースタートに成長!『BSスカパー! BAZOOKA!!!第10回高校生RAP選手権』音楽の聖地「日本武道館」で8月30日(火)開催決定!!

8日 緊急編成『ホセ・ムヒカ 世界でいちばん質素な大統領 特別講演会』BSスカパー!で4月14日(木)午後4時25分よりノーカット無料放送

13日 NTTドコモ「ドコモ光テレビオプション+スカパー!」4月20日(水)受付開始

5月 | May

6日 通信衛星JCSAT-14の打ち上げ成功

11日 米国Gogo社へのスカパーJSAT衛星JCSAT-5A、JCSAT-14の帯域提供が決定

12日 スカパーJSATグループ 中期経営計画2020の策定

6月 | June

13日 一夜限りのスペシャルライブ ケツメイシ 15th Anniversary 9月24日(土)午後9時より BSスカパー!および、スカパー!4K総合で同時放送!

23日 緊急地震速報衛星配信サービス『SafetyBird』新たなソフトウェアの導入で、より手軽に

27日 リオ2016パラリンピック競技大会 前哨戦『2016ジャパンパラ水泳競技大会』7月17日(日)・18日(月)午後1時からBSスカパー!で生中継!!

第9回定時株主総会開催概要

- 開催日: 2016年6月24日(金)
- 場所: ホテルオークラ東京
- 出席株主数: 178名
- 所要時間: 69分間(10:00～11:09)
- ※ 昨年170名
- ※ 昨年62分間
- ご質問: 5名
- 議案: 取締役12名選任の件
- ※ 原案通り承認されました。

株主総会関連資料

📄 招集通知 📄 決議通知

議決権行使状況

📄 議決権行使の最終集計報告(臨時報告書)



招集通知は
今回より、カラーで
わかりやすく
しています。

株主総会当日の主なご質問／ご意見

Q.1 プレミアムサービス加入件数は、HD移行時に比べ約10万件減少している。今後、中長期的な視点も含めてどのようなテコ入れをしていく計画ですか。

A プレミアムサービスの加入者数は純減傾向が続いていますが、MPEG-2サービスの終了など特殊要因を除いた解約数と解約率は着実に好転しています。同時に、加入件数も今年度に入り、増加基調にあります。現在、4K放送のあるプレミアムサービスが加入者の増加基調に繋がっています。また昨年、東芝とソニーから、プレミアムサービスチューナー内蔵テレビが登場し、今期はその機種数が拡大します。さらに、これまでスカパー!サービス、プレミアムサービスの双方を販売していた家電量販店では、今期からプレミアムサービスのみを販売する戦略に切り替えています。このような施策が奏功し、本年度に入ってプレミアムサービスの新規顧客獲得は予想を超える件数となっています。(小牧取締役)

Q.2 HTS*をアジア・太平洋地域に実施しますが、インマルサット社や、パイアサット社も同様のサービスを展開する中で、今後HTS、Kaバンドサービスをどのように展開していくのですか。*High Throughput Satellite

A 大容量のHTSは、船舶や航空機、インターネット接続など、今後非常に高まるであろうトラフィックに対応して提供するサービスです。当社としてはインテルサット社と共同でKuバンドのHTSを太平洋上に置いて展開し、加えて1つあるいは2つのHTSについて検討中です。Kaバンドの場合、インマルサット社とは、当社子会社でありインマルサット社と合併企業であるJSAT MOBILE Communications(株)においてグローバルエクスプレスのサービスを提供していくことになります。当社としては多くの商材で、多くのニーズに応えていこうと考えています。一方でパイアサット社は、アジア・太平洋地域に足場を持たないことから、同地域に衛星を打ち上げても販売等にはパートナーが必要となるものと想定し、商機を見出していくことになります。(小山取締役)

JCSAT-14は今年、 5月6日に無事打ち上げ成功。

同衛星のプログラクマネージャーに聞きました。

技術運用部門 衛星技術本部 衛星技術部
第2チーム チーム長

櫻井 修

Q 衛星技術部における業務について 教えてください。

衛星技術部は主に新規に調達する衛星プログラムや、打ち上げサービスの技術的な取りまとめをして衛星調達プログラムを推進します。JCSAT-14プログラムにおける私の役割はプログラクマネージャーです。プログラクマネージャーは社内関係者や衛星メーカーと共に衛星の仕様・設計を最終化し、製造・試験段階での不具合対応方針も決定します。打ち上げサービス会社とは、衛星質量・投入軌道や打ち上げ時の衝撃環境条件等、ロケットと衛星のインターフェース(接続)条件を決定します。

海外の衛星メーカーとは時差があるため、電話会議を行う時間が限られるのが大変です。特に衛星メーカーと長時間の協議が必要になる設計審査会や環境試験等の重要なイベント時には、現地に赴き協議・モニターし、課題解決します。

Q 今回のJCSAT-14プログラムで 難しかった点は何でしょうか。

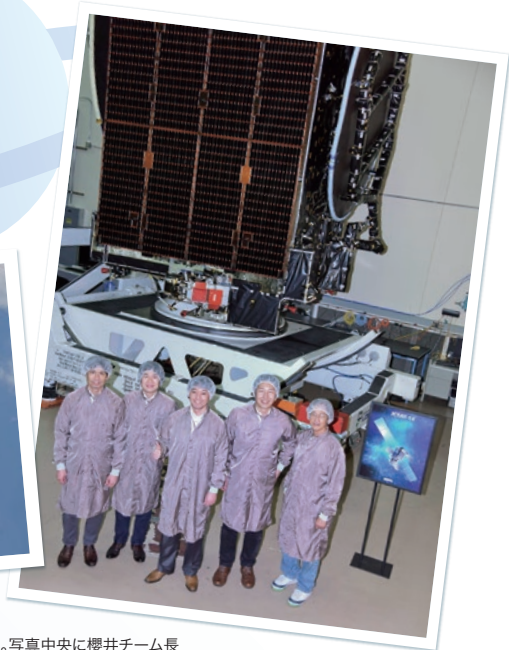
衛星メーカーのSpace Systems Loral社(SSL)とは20数年ぶり、打ち上げサービス会社のSpace Exploration Technologies社(SpaceX)とは初めての契約ということで、お互いに相手の進め方を学びながらプロジェクト推進していく必要があり、調整に手間や時間がかかることもありました。

ようやく衛星のプログラムが順調に行ったと思ったら、打ち上げスケジュールの遅延という思わぬ出来事もありました。打ち上げに向けて衛星の出荷準備が整いつつある2015年6月、SpaceXのFalcon 9ロケットによる国際宇宙ステーション向け補給機の打ち上げが失敗しました。失敗原因調査やその対策措置を施すため、Falcon 9打ち上げ再開まで半年ほどかかり、2015年秋に打ち上げ予定だったJCSAT-14もこの影響を受けて、約半年遅れの2016年5月6日に打ち上げとなりました。



左:発射台で打ち上げを待つJCSAT-14

右:JCSAT-14の前で社内関係者と記念撮影。写真中央に櫻井チーム長



Q JCSAT-14は無事打ち上げ成功しました。 今、どんな思いがありますか。

打ち上げ時、私は打ち上げ地点から20kmほど離れたコントロールセンターにいました。ロケットからの受信データをモニターして、すべて正常に行われているかを緊張しながら確認していましたが、打ち上げの約50秒後には衝撃波を体で感じました。リアルな衝撃波を感じながら何kmもの上空を飛翔するロケットのデータをモニターするという体験は、なんとも不思議な感じでしたね。そして衛星分離後に打ち上げ成功を確認し、まずはひと安心しました。

軌道上試験も問題なく完了し、JCSAT-14は衛星名をJCSAT-2Bに変え、これから15年以上にわたり衛星通信サービスを提供していきます。これでプログラクマネージャーとしての役目は終わりです。大役を果たした充実感がある一方、約3年間一緒にチームとしてプログラム成功を目指してきたSSL、SpaceXやコンサルタント、そして社内メンバーと全く同じメンバーでもう一緒に仕事をするのもないのかと、少し寂しい気もしています。

ソフトバンクとスカパー！の連携、 「スカパー！セット割」で加入者獲得へ。 また、4K 専門チャンネルの一部でHDR放送を世界に先駆けてスタート

さらに高画質な
4K HDR放送
楽しみだね！



● ソフトバンクで「スカパー！セット割」受付開始

新たな加入者獲得に向けた販路拡大のため、NTTドコモが展開するドコモショップでの「ドコモ光テレビオプション+スカパー！」サービスのお申込み受付開始に続いて、ソフトバンクとも連携し、ソフトバンクショップ、家電量販店およびYモバイルショップなどで、スカパー！サービスのお申込み受付を7月7日から開始しました。光回線サービス「SoftBank 光 5年自動更新プラン」で放送サービスとセットになった「スカパー！セット」(「SoftBank 光」と「テレビ視聴サービス(N)」、「スカパー！」のセット)をご契約すると、アンテナを設置することなく「スカパー！」サービスをご視聴いただけます(対象となる「スカパー！セット」商品は下図参照)。

「SoftBank 光」のご利用料金も「2年自動更新プラン」5,200円(税別)に比べ700円(税別)割安となるお得なプランです。スカパーJSATは、スカパー！サービスをより便利に、手軽にご利用いただけるよう、光回線との相乗効果でさらなる加入者獲得を目指します。

「スカパー！セット」対象商品

「スカパー！セレクト5」
1,833円/月(税別)

対象45チャンネルより好きな5チャンネルが選択可能！

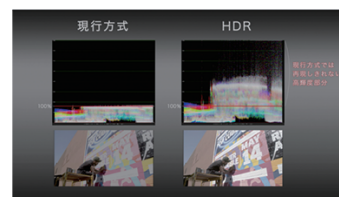
「スカパー！新基本パック」
3,400円/月(税別)

選りすぐりの11ジャンル47チャンネルが見放題のイチオシパック！

※「スカパー！」サービスの月額ご利用料金は、基本料390円(税別)+上記1または2のバック商品料金です。

スカパー！ = SoftBank **光**

● HDR技術を用いた4K放送を10月よりプレミアムサービスで開始



2016年10月4日より、4K専門チャンネル「スカパー！4K 体験」の一部時間帯において世界初の4K HDR (High Dynamic Range) 放送を開始します。「スカパー！4K 体験」は5月に開局した4Kチャンネルで、4K放送対応の「スカパー！プレミアムサービス」または「スカパー！プレミアムサービス光」の受信環境があれば、無料でご視聴いただけます。4K HDR放送は、現行方式に比べ映像の明暗の表現の幅が拡大され、人間の目で見ている明るさと暗さに近くなるため、今までより自然で高精細な描写が可能です。この4K HDR放送にあたって、スカパーJSATでは日本放送協会(NHK)と英国放送協会(BBC)が中心に開発し、テレビ放送に適したハイブリッド・ログ・ガンマ方式(Hybrid Log-Gamma HLG方式)を採用しました。

なお、4K HDR放送に対応するため東芝「4KレグザZ20xシリーズ」では、バージョンアップ用ソフトウェアのダウンロードを8月下旬から開始する予定です。他社製品においても、今秋以降順次対応される予定です。当社は4K HDR技術に積極的に取り組み、より繊細で迫力あるコンテンツを視聴者の皆様にお届けしてまいります。

スカパー！



通信衛星を介した山岳地域でのWi-Fi接続サービス提供開始



公益社団法人日本山岳ガイド協会とインフカム株式会社は、山岳情報ネットワーク「山と自然ネットワーク・コンパス」(以下「コンパス」)を利用する登山者向けに、スカパーJSATの衛星回線を使った公衆山岳Wi-Fiサービス「コンパス山岳Wi-Fi」の提供を8月より開始いたしました。

山小屋に設置したWi-Fiアンテナを使い、登山中のユーザーに通信回線を提供するもので、遭難時の連絡手段や現在地の確認等にも利用できます。通信衛星を使った山岳Wi-Fiは、登山者の遭難事故に限らず山岳地域で発生した

土砂災害や火山災害時の通信手段としても高いポテンシャルをもっています。

NPO法人北アルプスブロードネットワークと協力し、まず北アルプスの穂高連峰と槍ヶ岳周辺の山小屋5カ所に衛星アンテナおよびWi-Fiアンテナを設置し、当社が保有する通信衛星と山小屋(登山エリア)、山小屋(登山エリア)とユーザーを結びます。エリア内のユーザーはWi-Fiにアクセスしてインターネットブラウザから専用ポータルサイトに接続し利用料を払うことで、緊急連絡手段や天気情報取得として

だけでなく、SNSやメール、インターネットなども利用できるようになります。

北アルプスでの運用を見極めながら、今後は全国の山小屋と連携してWi-Fi接続サービスを展開していきます。この取り組みによって遭難事故を減らし、遭難者の早期救助を実現するとともに、将来的には通信インフラが未整備な地域の通信手段確保や災害時のライフラインとしての活用拡大につながると考えます。

通信衛星JCSAT-16 打ち上げ成功



5月に打ち上げに成功したJCSAT-2B(JCSAT-14)に続き、2016年8月14日には、JCSAT-16が、SpaceX社のFalcon9ロケットにより、米国ケープ・カナベラル空軍基地より予定通り打ち上げられ、無事分離成功しました。今後は静止軌道上での性能確認試験を経て、運用開始する予定です。

JCSAT-16は、より安定した衛星サービスの提供と、宇宙・衛星事業のさらなる基盤強化を目的に打ち上げられ、今後は東経124度から東経162度の通信衛星の軌道上予備衛星としての役割を担います。当社は今後も安定的で高品質な衛星通信サービスの提供を行ってまいります。

各ジャンルのおすすめ!!

下の各ジャンルのアイコンをクリック  すると番組紹介ページをご覧ください。



サポート&プレゼント

MENU

》》》 ご加入者様向けサポート&プレゼントがグレードアップ!

トラブル解決サポート

- ・ヘルプセンターのご利用
- ・引越し・視聴トラブル出張工事(出張費無料)
※工事割引額はステージによって異なります
- ・視聴トラブル診断サービス

チャンネル視聴プレゼント

- ・16日間多チャンネル(無料視聴)
- ・1ヶ月好きなチャンネル(無料視聴)
※ステージによって異なります
- ・無料の日(毎月第1日曜日)

ご加入者限定プレゼント

- ・ワクワクプレゼント
- ・“ココロ動く瞬間”体験レポート

番組視聴サポート

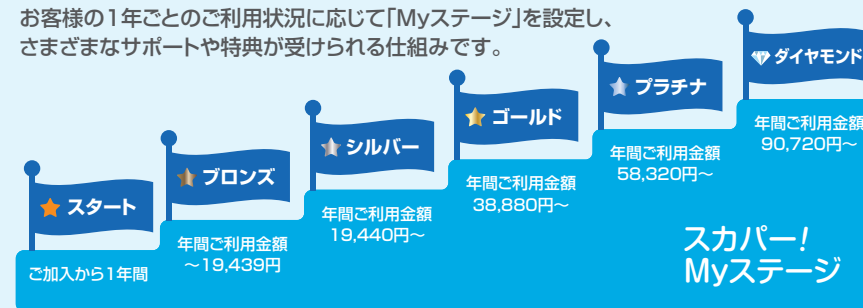
- ・スカパー! Magazine ヨムミル!
- ・ジャンル別番組情報
- ・Myスカパー! アプリ
- ・プロモチャンネル
- ・ガイド誌
- ・1ヶ月番組情報
- ・プロ野球セットアプリ

お得な割引

- ※割引金額はステージによって異なります
- ・チャンネル組み合わせ割引
- ・複数台割引
- ・機器購入割引
- ・再加入割引
- ・工事費割引

「スカパー! Myステージ」とは。

スカパー!のサポート&プレゼントは、お客様の1年ごとのご利用状況に応じて「Myステージ」を設定し、さまざまなサポートや特典が受けられる仕組みです。



お客様のMyステージが上がるごとに、チャンネルプレゼントのご利用可能金額や、プレゼントへの応募口数が増えます! ぜひお客様の「Myステージ」を確認してみてください。

スカパー! Myステージについてはこちらをクリック

